

討論！賛否わが

否決

議案
第22号

平成23年度 地域休養施設 特別会計予算

【論点】

- ・地域休養施設の山香荘に
サッカーフィールドを建設するかどうか

われなくなつたので問題になつてゐる。今回の計画は成功する。

しかし、そもそも施設が使われる声を大切にしたか。フットボールセンターがなつても本町は発展できる、発

【反対：西山議員】

課題を身近に感じている人からの声を大切にしたか。フットボールセンターがなつても本町は発展できる、発

今こそ、議会も町民も行政も一緒になつて、フットボーラーで町を発展させるよい機会。

有利な補助金を使う方法も、なかなかできない状況になつてゐる。

【反対：杉谷議員】

反対は、山香荘を壊すといふことではない。山香荘は大事な施設。ただ、今回の議案の中にフットボールセンターの建設費があるので、この議案に反対する。

ランニングコストをしっかりと考へてほしい。

【賛成：足立議員】

他の活性化案は、山香荘でなくともできる案もある。フットボールセンターが山香荘でないといけない理由は、現在、サッカー関係者の思い入れがあるから。

【反対：木本議員】

行政も認めているように、住民に対する説明不足。ランニングコストについて協会からの数字ばかり先行し

【賛成：西尾議員】

反対の人の多くは、ムダな金を使うなどという理由。地元が使えない施設だという理由もある。

展させなければならないといふのが、反対運動の人々の声。

わたしたちのまちは、わたくちで築こうという思いが大切。

【賛成：吉原議員】

議会も町民も行政も一緒になつて、フットボーラーで町を発展させるよい機会。

行政が出す政策が変わらないのに「お願いします」を繰り返すだけでは、議論をする意味がない。

【賛成：近藤議員】

修正案を出さずに否決することは、4月1日以降、山香荘の営業はするなどということ。

山香荘は活かしたいという反対議員の発言もあつたが、否決の判断は重い。

賛成議員

近西吉足 小岡惟鹿
藤尾原立 原田木島

反対議員

竹米大杉野池岩諸西
口
日本森谷昌田井遊山

サッカー協会が、山香荘に子どもたちを連れてきたいと

いう思いが原点。

町に求めたのは、宿泊費や使用料を再計算して、ランニングコストゼロでできるかどうか。行政からの話はなく、

【反対：竹口議員】

反対の決定的 이유는、ランニングコスト。

住民の福祉向上になるものであれば、毎年支出があつても納得できるが、事業性の高いものの赤字は問題。

行政が出す政策が変わらないのに「お願いします」を繰り返すだけでは、議論をする意味がない。

【賛成：岡田議員】

この提案は、財源の裏づけや綿密な利用計画を評価する。

この計画が信用できないという意見もあるが、何が信用できないか理解に苦しむ。

ランニングコストを心配する声もあるが、どんな事業でもランニングコストはかかる。これほど優れた地域活性化策はない。スポーツツーリズムにも有効な事業となる。